



# 名古屋いのちの電話

紙風船

落ちて来たら

黒田三郎

今度は

もっと高く

もっともっと高く

何度でも

打ち上げよう

美しい

願いごとのように

(特集「もっと高く」)



写真 文珠幹夫



## 「陪審裁判と悩みごと相談」

内河 恵一

名古屋弁護士会は、今年が創立100周年。去る、10月11日金山の市民会館中ホールで100周年記念行事の一つとして、弁護士演ずる「実験・陪審法廷劇」を開催した。予想以上の市民の関心を得て1200名近いお客さんで会場は一杯になった。2時間以上前から行列が出来たなどということは、弁護士会の行事としては、前代未聞であった。アメリカにおける「服部君事件」が大きな引き金になったと思う。

さて、陪審制度は、日本でも昭和3年から実施され、昭和18年に一時停止の取り扱いが行われ現在に至っている。しかし、戦後一貫して職業裁判官による裁判が実施されているため、日本に陪審裁判が行われていたということを知る人は意外に少ない。それでは、何故今、陪審裁判なのか！

陪審裁判は、市民により裁判が行われる制度である。市民の陪審員は、法律に関しては、全くの素人である。多くの日本人は、果たして素人に裁判が出来るだろうか、という疑問をもっている。素人の陪審員より一定の教育を受け、法律を専門に学んだ職業裁判官による裁判の方が安心出来る、というのも分からないわけではない。しかし、改めて考えてみると、物を盗んだとか、他人を傷付けたとかいう事実の認定は、必ずしも法律知識をもっていなければ分からないというものではない。むしろ、被告人とされている人と同じ常識・感覚をもっていることの方が大切である。そうでないと、全く別の世界の人を裁くことになってしまうからである。

一人の職業裁判官の判断より、迷うかも知れないけれど、「12人の陪審員の目」による結論の方が、より正義・真実に近いのではないかと、というのが陪審裁判の意味である。今、陪審制度を見直してみようという動きも、ここら当たりに狙いがあるのである。

\* \* \*

「いのちの電話」で見知らぬ人の相談にのるとき、やはり同じ問題にぶつかるのではないかと思う。名前も顔も分からない人の深刻な問題にどのように対応するのか、そこに共通の理解し得るステージを見い出すことが出来るのか。10月18日の理事会「無言電話」のことが話題になった。相談員の第一声で「無言」を決め込む人がいるそうである。「無言」は、人の心を閉じる最たる表現である。人間の関係がその「第一声」で決まってしまう、ということも考えてみれば恐ろしい話である。相談員の方々の御苦労がしのばれる。加えて、電話で語りかけながら、相手の人の状況をつかみ、共通の世界を築いていくことは、大変な作業であろう。しかし、相談員の方々が、豊かな体験と健全な常識、加えて、きめの細かい訓練を経て、悩める人々の相談にのっていることに、改めて深い敬意を表し、感謝を申し上げるものである。

陪審裁判という、少し突飛な話から始めたが、「人の問題」にかかわるという点においては、裁判も電話相談も共通の「テーマ」があるように思える。

(本協会監事 弁護士)

この国では老人がなぜ粗末にされるのか私にはわからない。

老人は

話が長い、くどいから？

—じゃ若者の公衆電話の長電話はいったい何  
頑固で、人の話を聞かないから？

—注意しても聞かない若者なんていっぱい  
いるのでは。

口うるさいから？

—ラジオのあのうるさいおしゃべ  
りは

ご飯の食べ方が汚いから？

—テーブルにあぐらをかき汚して  
いる若者は

服装がだらしないから？

—シャツをはだけている若者のファッ  
ションってカッコいいのかな

目の前で入れ歯をはずすから？

—道路に唾を吐く若者は  
動作がじれったいから？

—ボァーとしている若者はいないの  
嫁の悪口を言う

—女性週刊誌は

自分で何しようとしらない

—家庭で主人といわれる人々は

マア若者と比較するとこんなことにな  
るが、この国のテレビ、ラジオ番組は  
一般国民を対象としながら実際は若  
者中心であるかのように見受けられる。

私は今老人保健施設に勤務している

が、ここは病院から家庭に帰るまでに介護、看護、  
リハビリをする通過施設として厚生省が数年前から  
力を入れている施設で、対象は70才以上である。

この人がいざ退院となると

家はできたが塀がまだ出来ていませんので引き  
取れません。

家の環境が整備できていませんのでまだちょっ  
と待って下さい。

まだ歩けませんからもう少しおいて下さい。

などなどの理由を述べられるひが増えてきてい  
る。

長期になればなるほど老人の生活の場所がなく  
なっていくようである。

なぜこうなるかは情緒的な面については前に述  
べたが、その他の理由については良く言われている  
のが、家族の生活の場（住居）が狭い、老人の  
世話を主にする主婦がパートなどで働きに出てい

るなど経済的な側面及び家族支援体制  
から言われていることがある。

でもそれだけであろうか。

私はそれも加え文化的な側面も考え  
なければならないと思う。この国では  
子供中心の家庭教育がされており、い  
わゆる親が自らを尊敬させる教育がさ  
れていないことにも問題があるように  
感じる。

フィリッピンで貧しい家庭に泊ま  
った時、少ないおかずをまずお客と両親  
が食べ、残りを子供たちが食べた。こ  
の姿を見て、日本人たちが期せずして  
声を上げたのは子供達が先ではないの  
という声であった。この時にふと思っ  
たことは、日頃の生活の習慣の中でま  
ず目上が先と躰られているので老人た  
ちが経済的実権をなくしても日本のよ  
うに、縁側のそばから今にもずり落ち  
そうになっている姿はないのではない  
かということである。

でもこれは一側面に過ぎない。

いろいろなことが重なり、この国では特定の老  
人を除き粗末にされているに違いない。

でもなぜなの、なぜなのといろいろ考えてもよ  
くわからない。

はっきりしていることは現実に家庭に帰れない  
老人が確実に増え続けていることである。

## 老人がなぜ粗末に

## されるのか

葛西修



(訓練スタッフ 老人保健施設事務長)



# 窓



## 最新 電話風俗情報 その2

### ● ダイヤルQ<sup>2</sup>のしくみ

ダイヤルQ<sup>2</sup>とは、NTTが1989年から始めた情報料回収代行サービスのことで、このサービスは今まで電話回線の使用料だけを収入にしていたNTTにとって、電話代+情報料の9%が利益になり、情報提供者にとっては、電話代に情報料がコミで徴収されるので、代金回収の手間が省けるということになるわけです。しかし、実際に始めてみると、情報提供のほとんどが、ワイセツなアダルト番組やパーティラインという同時グループ会話の番組で占められ、青少年の間で親の知らない間に20万円、30万円の電話代が請求されるという事態になり社会問題になったのです。

### ● ダイヤルQ<sup>2</sup>の魔力

ダイヤルQ<sup>2</sup>の魔力を知るには、実際にダイヤルQ<sup>2</sup>に電話をすれば判ります。例えば、0990、306、222をダイヤルすると、「女子校生の告白」という番組だとします。大人が聞けばたわいのない内容ですが、中高生にとってはかなり刺激的で、これが自宅の電話や公衆電話から聞こえるから困るのです。

もうひとつ問題になっているパーティラインというのは同時に8人が話せる回線の事です。0990、334、666をダイヤルするとパーティラインの一つにかかります。筆者がかけて聞いたら、名古屋市

内の女の子が偶然でてきてパーティラインの楽しみは見知らぬ人と声だけで知り合えるというのが魅力だそうです。そのあたりは青少年の孤独の問題と関連がありそうですし、いのちの電話などにかかってくるテレホンセックス的な通話との関連もありそうです。

### ● ダイヤルQ<sup>2</sup>今後

NTTはQ<sup>2</sup>が社会問題化したので、92年6月にダイヤルQ<sup>2</sup>の前面改革をきめました。それによると売春の温床になっているツーショットダイヤルは廃止。パーティラインも利用料を5分の一にする通話料と情報料を分けて請求する。料金が10万円を越えたら知らせる。等です。しかし、今後アダルト物がなくなるという訳ではありません。悪徳業者はあの手この手で、新しの商売を考えることでしょう。

### ● 新しいダイヤルQ<sup>2</sup>利用法

93年になって、北海道の地震や鹿児島島の豪雨災害の義援金を集めるために、テレビ局がNTTのダイヤルQ<sup>2</sup>を利用しているのを知りました。この方法だと、誰でもどこからでも1分間のQ<sup>2</sup>テープを聞くだけで、自動的に100円の募金ができるのです。ダイヤルQ<sup>2</sup>の新しい利用法として、注目すべきことではないでしょうか。

## (電話担当のある日)

あと5分で電話担当の終了時間の10時になる。

“リーン、リーン”

一瞬、受話器をとるか否か迷った。10時までは当然のつとめであるから・・・と思い、内心、短い相談であればいいな・・・と願いつつ、手をのばす。

“死にたい……”

ききとりにくい小さい声。

こちらはパニックになりそうな気持を押え、心を落ち着かせるよう努める。「あっ、ここに電話を掛けてきて下さったという事は死なない」「生きたいから、かかって来たのだ」そう判断できたのでできるだけ時間をひき延ばそうと対応する。必死の思いで聴いて、掛け手と私と二人で生きる糸口を探り、最後に“あなたのことを祈っています”と私が言って電話の向うの人は黙って受話器を置いた。11時をすでに過ぎていた。車の少なくなった道をスピードを出して帰宅を急ぐ。堀田のあたりで暴走族らしきオートバイが威嚇の騒音をたて、数台、前を横切りびっくりした。急ブレーキをかけて止まる。嫌な心細い気持だが、気を強くもって一といいきかせ走る。

バブルがはじける前は11時すぎてもゴーゴーと帰宅の車でいっぱいだったのに、不景気のせいかわ、めっきり夜ふけの車の数が減った。気分的に随分、ちがうものである。一台でも多く車が走っているとホッとするのである。

そんなことがあって、少し臆病になった自分を感じて、くやしい思いもしないでもない。最終時間の担当は当分、やめにして、24時間体制が実現したら夜半の当番を帰り時間を気にしないで、やってみたいと思っている。24時間体制にこぎつけるまで、困難な事も多く、一人一人の決断が迫られるが、国内の他のいのちの電話に勇気づけられて、前進を望みたい。

(N. K.)



## ご援助ありがとうございます

1993年5月1日より9月末日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に  
ご報告申し上げます。(順不同・敬称略)

社会福祉法人愛知「いのちの電話」協会  
理事長 相馬 信夫  
財務委員会

### 賛助会員 (A)

梶原 喜雄 太田 喜久 三田 村茂 西堀 澤敏 伊西 藤憲 高 田 孝 三 宅 邦明	寿雄子 子子 子子 子子 子子 子子 子子	恒柳 吉片 柳 吉片 吉 片 片 吉 片 吉 片 吉 片 吉	川原 山沢 原 山沢 山 沢 沢 山 山 沢 山 沢 山 沢	義佳千鶴 佳 千鶴 千 鶴 鶴 千 千 鶴 千 鶴 千 鶴	朗枝子水次 枝 子水次 子 水次 水 次 次 子 子 水次 子 水次	高西 木中 西 木中 木 中 中 木 木 中 木 中 木 中	橋村 島野 村 島野 島 野 野 島 島 野 島 野 島 野	孝英 正悦 英 正悦 正 悦 悦 正 正 悦 正 悦 正 悦	子一 司美子 一 司美子 司 美子 美 子 子 司 子 司 子 司	加崔 曰寺 崔 曰寺 曰 寺 寺 曰 曰 寺 曰 寺 曰 寺	藤 田西原 藤 田西原 田 西原 西 原 原 田 原 田 原 田	順正 治一 正 治一 治 一 一 治 治 一 治 一 治 一	子秀 子雄 秀 子雄 子 雄 雄 子 子 雄 子 雄 子 雄	山近 加塚 近 加塚 加 塚 塚 加 加 塚 加 塚 加 塚	田藤 藤田 藤 藤田 藤 田 田 藤 藤 田 藤 田 藤 田	満昭 慎道 昭 慎道 慎 道 道 慎 慎 道 慎 道 慎 道	弥二 二生 二 二生 二 生 生 二 二 生 二 生 二 生	田鳥 加高 鳥 加高 加 高 高 加 加 高 加 高 加 高	畑井 藤崎 井 藤崎 藤 崎 崎 藤 藤 崎 藤 崎 藤 崎	洋 隆照 隆 照 照 友 友 隆 隆 照 隆 照 隆 照	子寛 世美 寛 世美 世 美 美 世 世 美 世 美 世 美
--	---	--	--	---	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 賛助会員 (B)

榎戸 佳子 鎌倉 勝伊 戸田 伊子 平 田 理子 豊 田 美子 高 竹 内 坂 本 哲 高 本 香 菊 田 美 背 木 寿 三 上 茂	子助子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子 子子	杉広 神加 広 神加 神 加 加 神 神 加 神 加 神 加	山野 藤部 野 藤部 藤 部 部 藤 藤 部 藤 部 藤 部	志善 輝倫 善 輝倫 輝 倫 倫 輝 輝 倫 輝 倫 輝 倫	乃久 夫子 久 夫子 夫 子 子 夫 夫 子 夫 子 夫 子	近金 河宮 金 河宮 河 宮 宮 河 河 宮 河 宮 河 宮	藤子 野崎 子 野崎 野 崎 崎 野 野 崎 野 崎 野 崎	直今 朝喜 今 朝喜 朝 喜 喜 朝 朝 喜 朝 喜 朝 喜	枝枝 子江 枝 子江 子 江 江 子 子 江 子 江 子 江	水村 服佐 村 服佐 服 佐 佐 村 村 服佐 村 服佐 村 服佐	野松 部藤 松 部藤 部 藤 藤 部 部 藤 部 藤 部 藤	久義 美子 義 美子 美 子 子 美 美 子 美 子 美 子	藤 鈴木 藤 鈴木 木 加伊 加 伊津 伊 津遠 津 遠岩 遠 岩岩	城智 本藤 智 本藤 本 藤田 藤 田山 田 山田 山 田手 手 田	昇り 誠男 り 誠男 誠 男 男 誠 誠 男 誠 男 誠 男	野五 相金 五 相金 相 金 金 相 相 金 相 金 相 金	田藤 川森 藤 川森 川 森川 森 川井 川 井松 井 松波 松 波本	勝昭 義夕 昭 義夕 義 夕良 夕 良謙 良 謙睦 謙 睦正 睦 正昭	子子 治イ 子 治イ 治 イ子 イ 子子 子 子二 子 子二 子 子二
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	---	---	---

上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただいております。

○印の方は1993年度賛助会員募集運動に協力し入会して下さった方々です。

## 点滴

TV番組で中国の産児制限の状況が放映された。

総人口12億にらんとする国である。毛沢東氏の「生めよ殖せよ」の政策のツケだと言うが、  
現今の政策は「生まさない殖さない」に躍起である。

一夫婦に一人の子供。しかも地域、部落ごとに年間の割り当て数が定められ、勝手に子を生むことは出来ない。割り当て数の連絡が入ると、対象となる若妻達が集会場に集まり相談をする。家庭の事情等話し合い、高齢の者からとか妥協点を見い出せるまで話し合う。都市部はまだ良い、農村では労働力重視の農業であり働き手となる子供は沢山欲しい。懐妊したことを秘密にして出産しようとする夫婦だが、監視要員に知れ勧告を受けて泣きながら相談の後、やむ無く墮胎に踏み切る夫婦。やはり隠し通そうとした夫婦、夫が畑仕事に出かけている家に監視要員が来て、嫌がって泣く妻を強制的に連行し墮胎させる。帰宅した夫に留守中の出来事を話し、抱き合って忍び泣く夫婦。信じられない、痛ましく涙を誘われ、残酷さをも感じさせるシーンであった。大願の前にやむ無きことなのであろうか。

一方、日本ではどうか。若夫婦達は子供を多く欲しがらない。生活が苦しくなるから。(自分達がリッチな生活を送れなくなる。)体の線が崩れるとか何と勝手な理由であらうか。

一面、中国でも新たな問題も出ている。四二一総合症である。夫婦に一人っ子、父母にそれぞれおじいちゃん、おばあちゃんがつながる。一人の子供は親二人、四人の祖父母のちょう愛を一手に受ける。この先は了解を預けるでしょう。身近なところで気を付けなくては。次の世代の宝であります。

(T, K)



# 開局10周年記念 第一弾 来場歓迎!!

## 第1回フリーマーケット開催

近年のリサイクルへの関心のたかまりに呼応して10周年記念事業の手はじめに、フリーマーケットを開催することになりました。

日時 1993年11月7日(日)10時～15時

場所 中区橋、東別院本堂前広場

水谷巍総務委員長のおはからいにより東別院の広場をお借り出来ました。手持ち出店50店、車出店50店、出店料は全額「いのちの電話」の賛助資金として寄附されます。晴雨不論、どなたも来会歓迎はもちろん、出店希望も大いに歓迎します。

### 第6回 全国電話相談研究集会

日時 1993年11月13日(土) 10:00～16:30

場所 奈良市 奈良大学

内容

- ・基調講演 ふれあい喪失時代の病理  
—断絶と孤独をめぐる—  
講師 大阪教育大学教授 東山紘久氏
- ・研究発表 「児童相談所における電話相談の特質と相談内容の傾向について」  
和歌山児童相談所代表 古田多恵氏

「電話による継続相談の必要性」

広島県警察本部

嘱託少年相談専門員 福田純明氏

「電話相談の特性についての一考察」

川崎いのちの電話 田中幸治氏

「電話相談の具体例から

今求められているものは」

愛知県診断技術振興財団

研究員 田口幸薫氏

・シンポジウム 等々

### 名古屋いのちの電話日誌

- |     |     |                               |
|-----|-----|-------------------------------|
| 6月  | 5日  | いのちの電話の将来を考える会                |
|     | 11日 | 日本いのちの電話総会<br>(於 東京小石川センター)   |
|     | 14日 | 世話人会                          |
|     | 17日 | 総務、10周年合同委員会                  |
|     | 21日 | 訓練委員会                         |
|     | 26日 | フォーラム                         |
| 7月  | 6日  | 財務委員会                         |
|     | 12日 | 訓練委員会                         |
|     | 14日 | 総務、10周年合同委員会                  |
|     | 16日 | 電話相談ネットワークの会                  |
| 8月  | 7日  | 相談員自立の会                       |
| 9月  | 4日  | 訓練委員会、相談員自立の会                 |
|     | 8日  | 総務、10周年合同委員会                  |
|     | 13日 | ベルの会(世話人会)                    |
|     | 21日 | 8期養成講座オリエンテーション               |
|     | 24日 | 電話相談ネットワークの会                  |
|     | 25日 | 関西いのちの電話20周年記念式<br>(於 大阪YMCA) |
| 10月 | 2日  | 相談員自立の会                       |
|     | 14日 | 10周年記念事業企画委員会                 |
|     | 18日 | 理事会、評議員会、訓練委員会                |
|     | 25日 | 総務、10周年合同委員会                  |

### ご寄付下さる皆様へ

当協会への寄付金については所得税や法人税の優遇措置が受けられます。

★ 個人の場合

確定申告によって、所得税法、(第78条2項3号)の規定により寄付金控除が受けられます。

- ・寄付金額又は
- ・所得額×0.25

— (1万円) = 寄付金控除額

・なお、相続の場合も申告期限前の寄付金は、控除されます。

★ 法人の場合

確定申告によって寄付された金額を法人税法(第37条2項・3項3号)の規定により、一般損金算入の枠の他にこれと同額枠の損金算入枠が認められます。

★ 本協会の発行する領収書は上記の措置を受ける確定申告のため大切に保管して下さい。

お問い合わせは・・・

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
事務局 ☎ 971-5181

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

1993. 晩秋

名古屋いのちの電話

〒461-91 名古屋東郵便局 私書箱第257号

1993年11月1日発行

事務局 ☎052-971-5181

郵便振替口座 名古屋 1-53758

発行人 相馬 信夫

相談電話 ☎052-971-4343

東海銀行大津町支店(普)預金口座 477029

編集人 広報委員会